

1 連結業績概要 (① 前期比)

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	増減		特記事項
			増減	増減率	
売上高	1,185.2	938.7	246.5	26.3%	<売上> 日本国内・海外ともに鋼板商品の販売価格改善などから増収。
(売上総利益)	188.6	149.6	38.9		
(販管費)	106.2	93.0	13.1		
営業利益	82.3	56.5	25.7	45.5%	<営業利益> 国内: 販売価格改定により増益 海外: ゼロコロナ政策等の影響で減益 <営業外損益> 受取配当金増加など
(営業外収益)	28.8	16.2	12.5		
(営業外費用)	1.5	1.4	0.1		
経常利益	109.6	71.3	38.2	53.6%	
(特別利益)	0.0	0.1	△0.1		
(特別損失)	7.1	0.8	6.2		
税引前利益	102.4	70.7	31.7	44.9%	
(法人税等)	29.1	17.4	11.7		
(非支配株主利益)	14.7	12.2	2.5		
親会社株主利益	58.5	41.1	17.4	42.5%	<包括利益> 当期: 四半期純利益 73億、その他有価証券評価差額金 △28億、為替換算調整勘定55億 ほか
(EPS(円/株))	203.08円	142.74円	60.3円		
包括利益	99.9	66.3	33.6		

2 連結業績概要 (② 予想比)

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

連結上期 (億円)	実績	予想 (2022年8月開示)	差異
売上高	1,185.2	1,150.0	35.2
営業利益	82.3	90.0	△7.7
経常利益	109.6	110.0	△0.4
親会社株主利益	58.5	60.0	△1.5

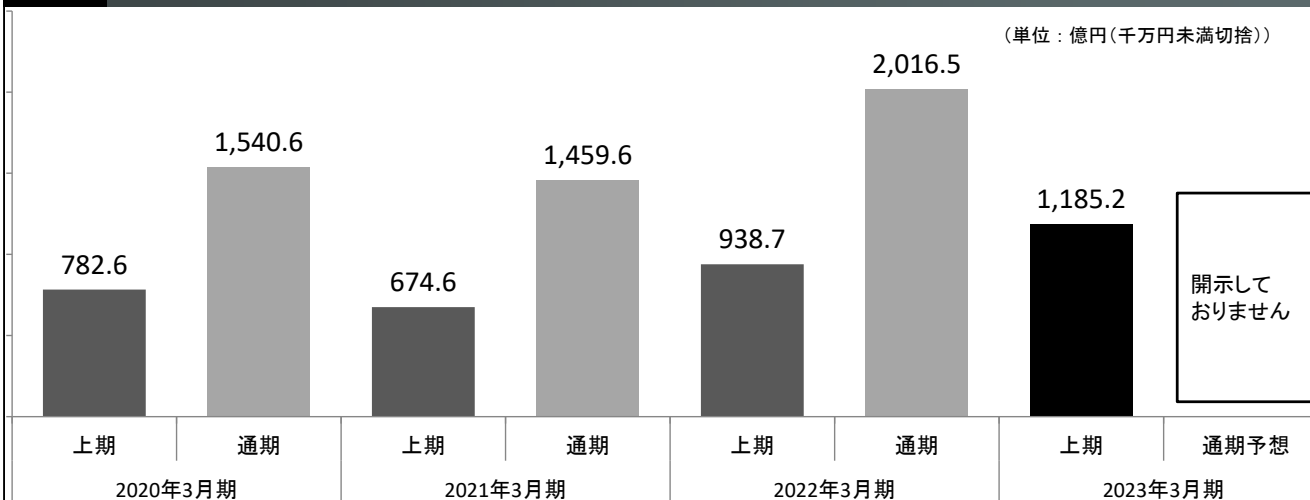
【特記事項】

- 営業利益: エネルギーコスト他、各種コスト負担の増加

3 連結売上推移

株式会社 淀川製鋼所

(単位：億円(千万円未満切捨))



【増収 246億の主な内訳】

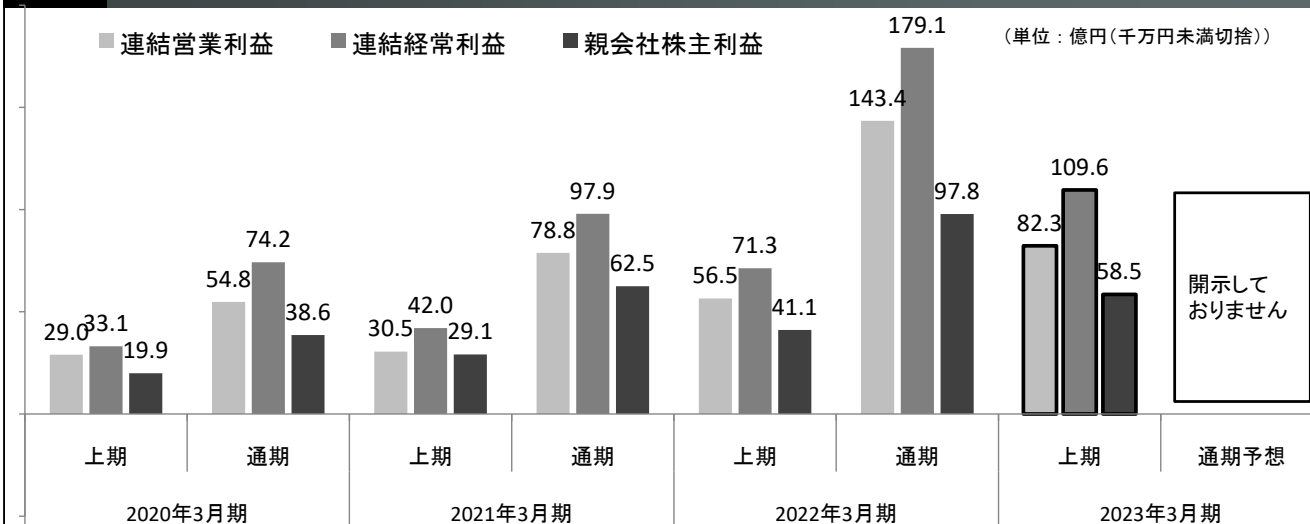
- 淀鋼+180億 (584→764)
鋼板商品の販売量は前年同期並みを確保、価格改定などで増収。エクステリアはガレージ、大型倉庫が堅調に推移し増収
- 台湾SYSCO社+76億 (254→331)
国内、輸出ともに販売量が伸び悩む中、価格改定と輸出（主に北米向け）の販売に注力し増収
- 中国YSS社△17億 (67→50)
上海や周辺都市のロックダウンの影響で建材向け、家電向けともに販売量減少
- タイPPT社+4億 (20→25)
高付加価値商品の販売が堅調、価格改定に注力し増収



4 連結損益推移

株式会社 淀川製鋼所

(単位：億円(千万円未満切捨))



【営業利益 25億増益の主な内訳】

- 淀鋼+31億 (25→57)
主に鋼板事業において価格改定に取り組み増益
- SYSCO社+1.8億 (28→29.9)
主に北米向けのカラー製品の販売増加と価格改定に努めるも、各種コスト負担増などから損益は昨年並み
- YSS社△4.7億 (0.9→△3.8)
ゼロコロナ政策による需要低迷などから、販売が伸びず減益
- PPT社+1.8億 (0.1→2)
原料コスト上昇分の販売価格への転嫁に注力し利益を確保



5 セグメント概況

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	売上高			セグメント利益		
	当上期	前上期	増減率	当上期	前上期	増減率
鋼板関連	1,140.4	898.0	27.0%	85.2	55.3	54.2%
ロール	13.2	11.6	13.2%	△2.1	0.4	-
グレーチング	16.8	16.6	1.2%	0.2	0.5	△48.3%
不動産	6.1	6.2	△1.3%	4.0	4.1	△3.1%
報告セグメント計	1,176.6	932.6	26.2%	87.4	60.4	44.8%
その他	8.6	6.0	41.5%	1.9	1.9	1.7%
合計	1,185.2	938.7	26.3%	89.4	62.3	43.4%
調整額				△7.1	△5.7	
PL計上額	1,185.2	938.7	26.3%	82.3	56.5	45.5%

6 連結財政状態概要

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当上期末	前期末	増減		特記事項
			増減	増減率	
総資産	2,518.5	2,446.7	71.8	2.9%	<資産> (流動) 売上債権、棚卸資産 などが増加 (固定) 有形固定資産の増加、 投資有価証券評価減少など
(流動資産)	1,545.1	1,445.2	99.8	6.9%	
(固定資産)	973.4	1,001.4	△28.0	△2.8%	
負債	537.1	527.3	9.8	1.9%	<負債> (流動) 仕入債務などが増加 (固定) 長期繰延税金負債減少 など
(流動負債)	401.5	375.5	25.9	6.9%	
(固定負債)	135.6	151.7	△16.1	△10.6%	
純資産	1,981.4	1,919.3	62.0	3.2%	<株主資本> 当期: 親会社株主純利益58.5億、 配当△19.3億など
(株主資本)	1,520.5	1,479.7	40.8	2.8%	
(その他包括利益累計)	227.1	223.1	3.9	1.8%	<その他包括利益累計額> 有価証券評価差額金減少、為替換算 調整勘定増加など
(非支配株主持分)	232.0	214.5	17.5	8.2%	
(BPS(円/株))	6,055.7	5,907.1	148.5		
自己資本	1,747.7	1,702.9	44.7	2.6%	
自己資本比率	69.4%	69.6%	△0.2pt		

7 連結CF概要

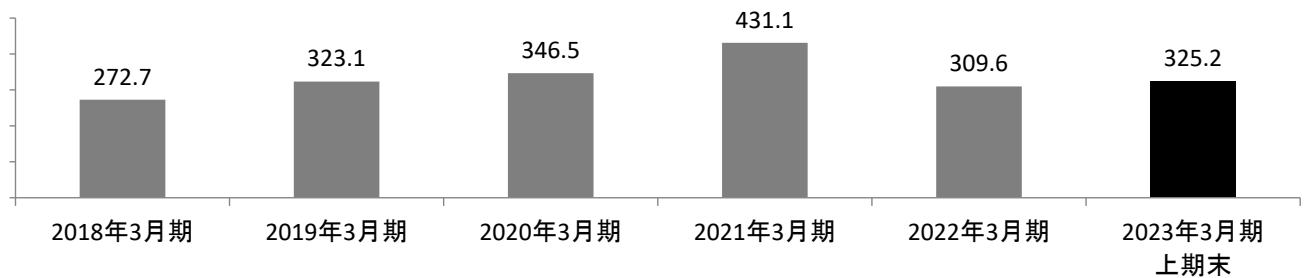
株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	前年同期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
営業CF	46.8	△71.3	118.2	—	税引き前利益の増加、棚卸資産の増加額減少など
投資CF	△10.5	△30.7	20.2	—	投資有価証券売却による収入増加など
財務CF	△39.4	△15.2	△24.2	—	当期: 配当△19.5億 など
現金及び同等物	325.2	323.7	1.5	0.5%	

(単位: 億円)

現金及び同等物残高



8 設備投資と減価償却

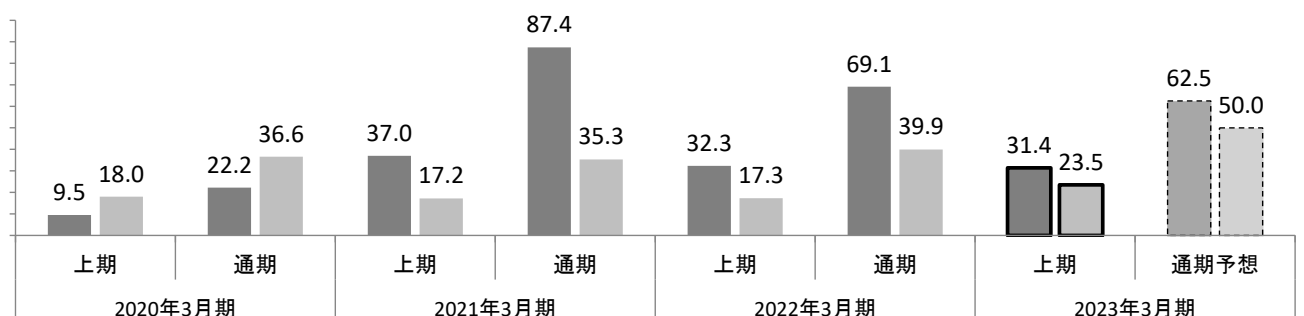
株式会社 淀川製鋼所

(有形固定資産のみ。建設仮勘定を含む資産計上ベース。単位: 億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	前年同期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
設備投資(連結)	31.4	32.3	△0.8	△2.8%	大きな投資案件なし
減価償却(連結)	23.5	17.3	6.2	35.9%	福井ヨドコウ社新工場生産開始
設備投資(個別)	8.2	9.6	△1.4	△14.8%	大きな投資案件なし
減価償却(個別)	10.7	8.4	2.2	26.7%	市川: カラーライン電気品ほか

(単位: 億円)

■ 設備投資額(連結) ■ 減価償却費(連結)



9 連結設備投資概要

株式会社 淀川製鋼所

(単位:億円(千万円未満切捨))

	会社	案件	完成年月 (完成予定を含む)	総投資額 (資産計上ベース)
当期実施	淀鋼	市川工場 2号カラーライン電気品更新	2022年8月	1.6
	淀鋼	大阪工場 エクステリア商品性能試験用 垂直炉更新	2022年6月	1.5
	福井 ヨドコウ	新工場建設 — 第2段階(総額28.3億円)	2022年9月	7.2
今後 予定	SYSCO社	2号めっきライン電機品更新	2023年6月	131.5百万NTD (約5.5)
	福井 ヨドコウ	新工場建設 — 第2段階(総額28.3億円)	2023年春	4.4

10 連結業績予想

株式会社 淀川製鋼所

(単位:億円(千万円未満切捨))

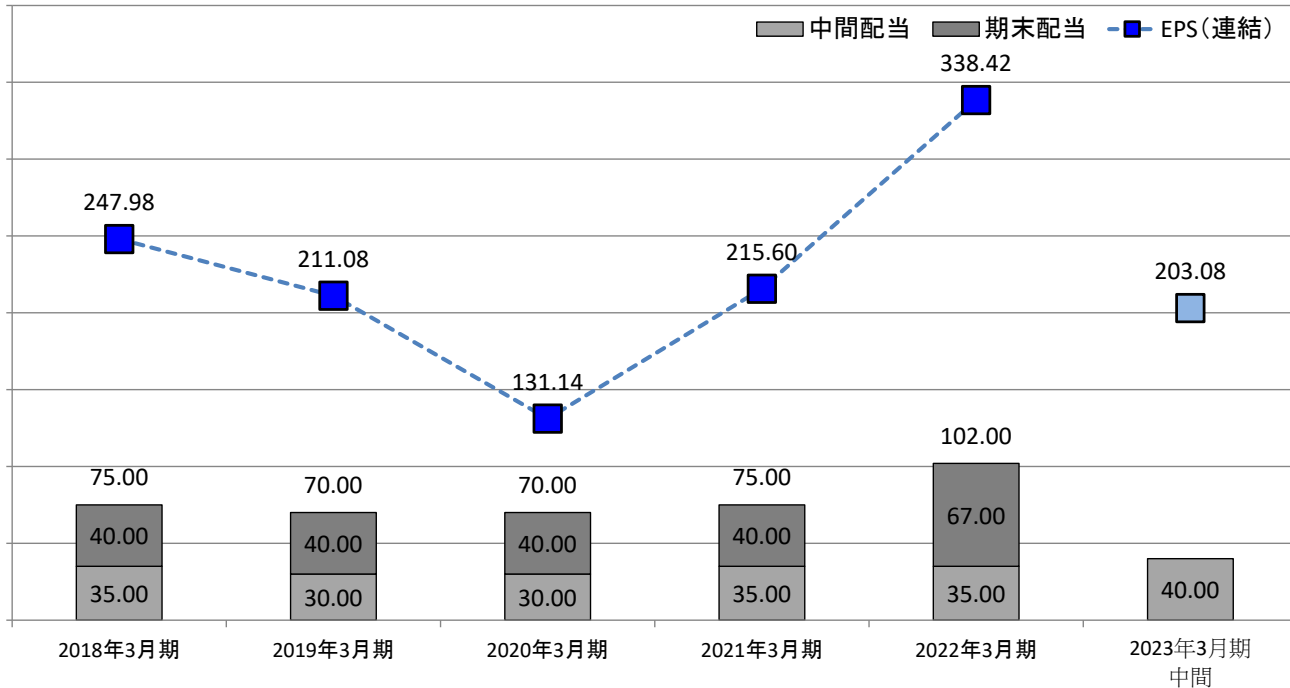
2022年3月期		通期 予想		上期 実績		(参考) 下期予想					
			前期比 増減		前期比 増減		前期比 増減				
連結	売上高	開示して おりません		1,185.2	26.3%	開示して おりません					
	営業利益			82.3	45.5%						
	経常利益			109.6	53.6%						
	親会社株主利益			58.5	42.5%						
個別	売上高							764.9	30.8%		
	営業利益							57.4	124.6%		
	経常利益							101.2	174.1%		
	純利益							75.2	184.2%		

- 国内外の鉄鋼市況動向など事業環境が極めて不透明であることから、業績予想を現時点で合理的に算定することが困難となっております。

11 配当

株式会社 淀川製鋼所

(単位：円/株)



- 中間配当は40円といたします。
- 期末配当予想は開示しておりません。

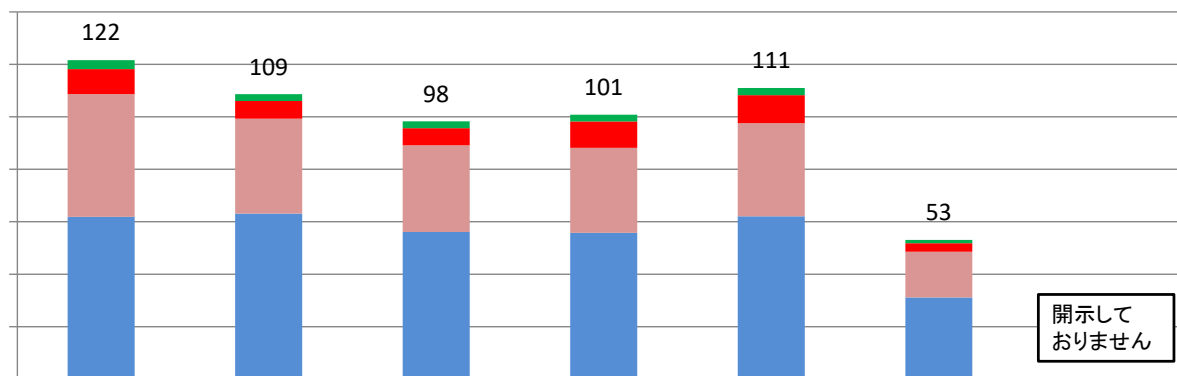


12 ご参考①

株式会社 淀川製鋼所

【グループ鋼板商品の一級販売量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)



	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期上期	2022年3月期通期予想
■ PPT	3	3	3	3	3	1	開示しておりません
■ YSS	10	7	7	10	11	3	
■ SYSCO	47	36	33	32	36	17	
■ YSW	62	63	56	56	62	31	
合計	122	109	98	101	111	53	

- SYSCO社の販売数量は輸出・台湾国内ともに伸び悩む
- YSS社は上海や周辺都市のロックダウンの影響で販売量減少

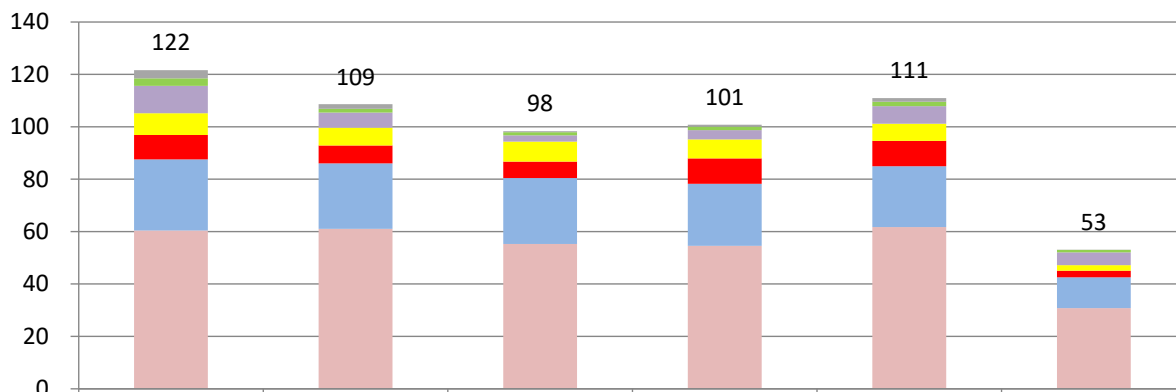


13 ご参考②

株式会社 淀川製鋼所

【グループ鋼板商品の向先別一級販売量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)



	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 上期
■ その他	3	2	0	1	1	0
■ オセアニア	3	1	1	1	2	1
■ 北中南米	10	6	2	4	7	5
■ その他アジア (中東除く)	8	7	8	7	7	2
■ 中国・香港	9	7	6	10	10	3
■ 台湾	27	25	25	24	23	12
■ 日本	60	61	55	55	62	31
合計	122	109	98	101	111	53